

施策番号	1605		
施策名	魅力ある介護現場の実現		
概要	魅力ある介護現場の実現のために大学等の介護人材の養成機関との連携や、介護職員に対するキャリアアップの取組を進めるとともに、介護の仕事に対する社会的認知・社会的評価の向上に向けた普及・啓発活動を行う。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	京・福祉の研修情報ネットからの介護研修申込者数(人)	-	-	531	729	571	127.7%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	e	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。	a	a	284	282	83	20	9	678	a
				41.9%	41.6%	12.2%	2.9%	1.3%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		a	a	市民生活実感調査総合評価						a

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	a	
	(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が介護職員や介護に興味を持つ市民に限定されているため、実績が市民全体の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。 (原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 (原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。					平成30年度
					平成29年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	介護サービス事業者向け研修等事業	6,168	6,168	良い	保健福祉局
2	認知症介護指導者養成等研修事業	2,597	3,441	良い	保健福祉局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・市民にとって介護職場の魅力が向上し、介護職員のスキルが向上するよう、京・福祉の研修情報ネットに掲載する研修・講座数の充実を図る。また、研修の主催者団体の増加を図るとともに、見やすく使いやすいHPの構築に向けて検討を重ねていく。

施策名	1605	魅力ある介護現場の実現				
指標名	京・福祉の研修情報ネットからの介護研修申込者数（人）					
担当課	介護ケア推進課		連絡先	2 1 3－5 8 7 1		
1 指標の説明						
京・福祉の研修情報ネットを通じて申し込んだ申込者数 ※京・福祉の研修情報ネット・・・介護職員等に対して福祉に関する研修・講座情報をインターネットを通じて一元的に提供するサービス						
2 指標の意味						
介護職員のスキル向上に向けた支援状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：登録実績 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	531	729	198人増	571	過去3年間の平均値	127.7%
	全国順位	中長期目標			備考	行政サービスの供給量である「京・福祉研修情報ネット」の研修・講座数よりも、利用実績である同情報ネットからの研修申込者数の方が施策の進捗を測るためには、より適切であるため、指標を変更。 (過去3年間の実績) 平成27年度：583件 平成28年度：598件 平成29年度：531件
		数値	目標年次	達成度		
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
-	-	a				